

# 東京貿易マシナリー株式会社

## 「コンパス」導入事例

東京貿易マシナリー株式会社は、国内トップシェアを誇るローディングアームの販売・一貫サービスとエネルギー関連の機器販売の専門商社です。商材の特性上、これまで女性を積極的に登用する社風ではありませんでした。

しかし、経営環境の変化や国の女性活躍推進の流れも追い風になり、中期5カ年経営計画の中で、社員一人ひとりが主体的に会社に貢献し、生産性を高めていくための改革を実施することになりました。そこで課題となったのは、女性社員の意識変革でした。今回は、人事グループの大西章義氏と小池眞矢氏に、キャリア研修プログラム「コンパス」の導入についてお話を伺いました。

### 女性社員の意識改革のために「コンパス」を導入

当社は、社員数114名のうち、女性社員は31名。女性の総合職はおらず、昨年4月に初の女性管理職が1名誕生しましたが、これまで女性は営業アシスタントや事務に活躍の場が限られていた状態でした。

一昨年4月の社長交代に伴い、会社が女性の活躍に期待しているというメッセージが社員に伝えられ、女性の管理職登用を皮切りに、事務職から総合職への転換制度、女性総合職採用の試みが始まりました。

これまで体系だった研修の機会がなく、現場での実践を通してしか仕事をしてこなかった女性社員に、自らのキャリアに限らず、自分自身を見つめ直し、会社において果たすべき役割について今一度考える場が必要だと考えたことが「コンパス」導入のきっかけです。「コンパス」の内容が、「人格を高める」というフレンクリン・コヴィー社の「7つの習慣®」をベースにしていることも、魅力でした。



### 「女性活躍推進」という自社の課題に向け研修をアレンジ

「コンパス」導入時の打ち合わせでは、当初、女性にフォーカスされている内容ではなかったため、男性講師が研修を行うことになっていました。しかし、女性社員に和気あいあいとした雰囲気でディスカッションしてもらうため、女性講師に変更をお願いしました。さらに当社の女性活躍推進という課題用に、女性特有のライフイベントを盛り込む等内容をアレンジしていただきました。



これらの柔軟な対応のおかげで、研修後半は時間が足りなくなるほど会話も盛り上がりました。女性が安心して楽しめるような雰囲気作りが講師の先生に



大西 章義氏  
東京貿易マシナリー株式会社 人事グループ

小池 真矢氏  
東京貿易マシナリー株式会社 人事部グループ

よってなされていたと感じます。また、女性が一人という部署もある中で、社内の女性全員が顔を合わせて意見交換することは、各人の視野と今後の展望を広げてくれたと思います。女性社員の認識を変えるための研修でしたが、これまで体系的な研修経験がなかった中で、会社として時間をとって自分がやりたいことを見つける経験は、女性に限らず社員全員に経験していってほしいです。

### 「全社員の幸せと豊かな社会を共創する」という理念の実現に向けて

「コンパス」の研修受講後は、「会社や周囲に貢献したい」という主体的な意見が増え、女性活躍を推進する上で、大変良いきっかけとなりました。

今後も女性社員のモチベーション維持のために、また、管理職の男性にも女性活躍推進について理解を得られるよう、「コンパス」を活用したいです。これまで女性が事務職を担当することでうまくいっていた部分もありますが、一方で女性が個人のライフイベントに合わせて管理職や幅広い活躍をする働き方も選択できるような、フレキシブルな会社作りを目指していきたいです。



「コンパス」の導入は、会社の一体感の醸成、そして「全社員の幸せと豊かな社会を共創する」、「お客様の満足のために価値創造プロ集団になる」という会社の理念の共有にもつながっていくでしょう。

今後、我社において男女平等な仕事環境を作り上げるため、女性社員の協力をお願いしたいと思っております。与えられた仕事を自ら制限するのではなく、自ら考え実行し組織の利益に期待以上に貢献していただき、また自ら手を上げ、責任ある仕事をやりきってほしい。そしてそのための勉強を地道に積み上げていってほしい。この研修がそのための第一歩になればと思っております。



東京貿易マシナリー株式会社 代表取締役社長 坪内 秀介氏



「講師からの一言」：身の回りで起こる変化を受け入れ、自分のありたい姿を目指していくための自信と考え方を身に付けます。一人で考える時間、参加者同士で話し合う機会を大切にする参加型のセミナーです。